

音 楽（一 般）

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

	発行者の番号及び略称	教科書名
17	教 出	中学音楽 音楽のおくりもの
27	教 芸	中学生の音楽

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

	観 点		視 点	方 法
(ア)	知識及び技能の習得	①	表現領域の知識及び技能の習得を図るための工夫	歌唱分野における知識及び技能に関する記載及び具体例
		②	鑑賞領域の知識の習得を図るための工夫	鑑賞領域における知識に関する記載
		③	題材の学習目標等の示し方	学習目標等の表記の仕方の具体例
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	④	音楽表現を創意工夫させるための工夫	創作分野における音楽表現を創意工夫する学習の具体例
		⑤	音楽的な見方・考え方を働かせる工夫	鑑賞領域における音楽を形づくっている要素の示し方及び学習内容の記載
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑥	興味・関心を高めるための工夫	資料や巻頭の内容
		⑦	生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わるための工夫	音楽文化に関する学習についての記載
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑧	我が国の音楽に関する内容の扱い	学年ごとに扱う鑑賞教材及び歌唱教材（歌唱共通教材を含む）
		⑨	教材の配列及び分量	教材の配列とその具体例及び目次に示された領域ごとの教材数
(オ)	内容の表現・表記	⑩	楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの活用	楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの具体例
		⑪	特別支援教育へ配慮した構成及びデザインの工夫	ユニバーサルデザインに配慮した示し方

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	①表現領域の知識及び技能の習得を図るための工夫
方法	歌唱分野における知識及び技能に関する記載及び具体例

	学年	歌唱分野における知識及び技能に関する記載及び具体例
教 出	第1学年	<p>「Sing! Sing!」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歌うための準備 <ul style="list-style-type: none"> ・歌うための姿勢 ・息のコントロール ・母音の発音 ○ 言葉の発音について <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の言葉表現する際には、子音や母音の発音の仕方を意識しましょう。「ガ行」の音は「鼻濁音」で発音する場合があります。 ○ 変声と混声合唱 <ul style="list-style-type: none"> ・変声（声変わり） ・混声合唱のパートについて ・声部の役割
	第2・3学年上	<p>「Sing! Sing!」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歌うための準備 <ul style="list-style-type: none"> ・歌う前のストレッチ（首の周りをほぐそう、脇腹を伸ばそう、肩をリラックス）
教 芸	第1学年	<p>「My Voice!」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の歌声を見つけよう <ul style="list-style-type: none"> ・準備（姿勢と呼吸） （バランスのよい姿勢、呼吸は歌声の命） ・歌声づくり （豊かな響きのある歌声） ・声の出る仕組み ・変声期
	第2・3学年上	<p>「My Voice!」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の思いを歌声にのせよう <ul style="list-style-type: none"> ・スムーズな息の流れに歌声をのせるには ○ 鼻濁音 <ul style="list-style-type: none"> ・鼻濁音を使って柔らかな響きで
	第2・3学年下	<p>「My Voice!」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 豊かな歌声で、気持ちをこめて歌おう <ul style="list-style-type: none"> ・確認しよう （姿勢と呼吸、息の流れ、響かせ方）

【音楽（一般）】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	②鑑賞領域の知識の習得を図るための工夫
方法	鑑賞領域における知識に関する記載

	曲名及び作曲者	楽譜の扱いについて	楽曲に関する内容について	時代について
教 出	第1学年 「和声と創意の 試み」第1集 「四季」から 「春」第1楽章 アントニオ・ヴ ィヴァルディ	○ ソネットごとに旋律 の一部の楽譜を掲載 し、リトルネッロ部と エピソード部を楽譜の 上に示し、リトルネッ ロ部の前半と後半にそ れぞれ色を付けて示し ている。また、楽譜の 上にソネットを示して いる。	○ リトルネッロ部とエピソ ード部について説明し、リ トルネッロ形式について表 で示している。 ○ 「「四季」ってどんな曲 集？」として、「四季」に 関する内容などについてイ ラストとともに示してい る。 ○ 「「四季」楽器編成につ いて」として、写真を掲載 し、写真の中に楽器名を示 し、説明している。	○ 「ヴィヴァル ディの時代」と して、ヴィヴァ ルディの時代と 同時期の日本の 時代等について 並記し、図で示 している。
	第2・3学年上 交響曲第5番 ハ 短調 作品67 ルートヴィヒ・ ヴァン・ベート ーヴェン	○ 第1楽章第1主題、 第2主題、展開部、再 現部の冒頭、第2楽 章、第3楽章、第4楽 章の冒頭及び各楽章の 中でリズムの動機が現 れる部分の楽譜を掲載 している。 ○ 楽譜の上部や下部に 演奏楽器を示してい る。 ○ 掲載している楽譜の 中のリズムの動機の部 分に色を付けて示して いる。	○ 「第1楽章の構成につ いて」として、ソナタ形式に ついて、楽譜の左側に図を 示し、説明している。 ○ 「それぞれの楽章に現れ るリズムの動機」として、 第2楽章～第4楽章のリズ ムの動機について説明して いる。 ○ 「ここに注目！」とし て、楽譜を枠で囲んでい る。 ○ 交響曲（シンフォニー） について、写真を掲載し、 オーケストラの配置の例に ついて、図を掲載し、それ ぞれ説明している。	○ 「ベートーヴ ェンの時代」と して、ベートー ヴェンの時代と 同時期の日本の 時代等について 並記し、図で示 している。
	第2・3学年下 ブルタバ（モル ダウ）連作交響 詩「我が祖国」 から ベドルジフ・ス メタナ	○ 移り変わる情景を表 現した旋律の冒頭部分 の楽譜の一部を掲載 し、楽譜の上に主に演 奏している楽器を示し ている。	○ 全曲構成として、連作交 響詩「我が祖国」の第1曲 から第6曲の曲名を示し、 「第2曲 ブルタバ（モル ダウ）」に色を付けて示し ている。 ○ 現在のヨーロッパとブル タバ川（モルダウ川）につ いて、地図を掲載してい る。 ○ 交響詩について、説明し ている。 ○ 「この曲に寄せる作曲者 の解説」として、作曲者の 解説を示している。	○ 〈スメタナの 時代〉として、 スメタナの時代 と同時期の日本 の時代等につ いて並記し、図で 示している。

【音楽（一般）】

	曲名及び作曲者	楽譜の扱いについて	楽曲に関する内容について	時代について
教 芸	第1学年 「春」第1楽章 （「和声と創意の 試み」第1集 「四季」から） A. ヴィヴァル ディ	○ ソネットごとに旋律 の一部の楽譜を掲載 し、リトルネッロ部に 色を付けて示してい る。また、楽譜の上 にソネットを示してい る。	○ 「イタリアの気候と「四 季）」として、地図を掲載 し、説明している。 ○ 「Challenge!!」として、 「夏－第3楽章」「秋－第 3楽章」「冬－第2楽章」 のそれぞれのソネットを示 している。 ○ 「四季」の演奏として、 写真を掲載し、写真の中 に楽器名を示している。	○ 「「+α」こ の頃、日本では …！？」とし て、ヴィヴァル ディの時代と同 時期の日本の時 代等について図 で示している。
	第2・3学年上 交響曲第5番 ハ 短調 L. v. ベートー ヴェン	○ 第1楽章第1主題、 第2主題、提示部の終 わりの部分、展開部の 始めの部分、展開部の 途中の部分、再現部の 始めの部分、コーダの 途中の部分の冒頭の一 部の楽譜を掲載してい る。また、楽譜の左横 に演奏楽器を示してい る。 ○ 第2楽章、第3楽章 及び第4楽章において は、主題について一部 の楽譜を掲載するとと もに、楽譜の上に演奏 楽器を示している。 ○ 掲載している楽譜の 中の動機の部分につ いて、色を付けて示し ている。	○ 第1楽章の楽譜の左側に 縦軸でソナタ形式につ いて示し、説明してい る。 ○ 交響曲について、説明し ている。また、他の作曲 者の交響曲の作品を示 している。	○ 「「+α」こ の頃、日本では …！？」とし て、ベートーヴ ェンの時代と同 時期の日本の時 代等について図 で示している。
	第2・3学年下 ブルタバ（モル ダウ）（連作交響 詩「我が祖国」 から） B. スメタナ	○ 標題ごとに冒頭部分 の楽譜の一部を掲載 し、楽譜の上に主に演 奏している楽器を示し ている。 ○ 掲載している楽譜の 中のブルタバを表す旋 律について、色を付け て示している。 ○ 「「我が祖国」の第 1曲「ビシェフラト」 の主な旋律」として、 楽譜の一部を掲載し ている。	○ 「ブルタバ」が作曲され た当時のヨーロッパ、現在 のヨーロッパ、ブルタバ川 （チェコ）の地図を掲載 している。 ○ 注釈で、交響詩につ いて、説明している。 ○ 作曲者自身による解説を 掲載している。 ○ 「受け継がれる祖国への 思い」として、写真を掲載 し、説明している。	○ 「「+α」こ の頃、日本では …！？」とし て、スメタナの 時代と同時期の 日本の時代等につ いて図で示し ている。

【音楽（一般）】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	③題材の学習目標等の示し方
方法	学習目標等の表記の仕方の具体例

	学習目標等の表記の仕方	具体例
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書冒頭に、見開き 2 ページで「学習 MAP」を設け、育成を目指す資質・能力を領域・分野ごとに示している。また、育成を目指す資質・能力と教材名、領域・分野の相互のつながりも明記している。 ○ 教材ページの端に縦書きで題材名、教材名の下に活動のポイントを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材名 歌舞伎の豊かな表現を鑑賞しよう。 ○ 教材名 歌舞伎「勸進帳」(第 2・3 学年下) ○ 活動のポイント ・歌舞伎の音楽の役割や効果を考えながら鑑賞しよう。 ・音楽の特徴を舞台の表現と関わらせ、多様な表現を聴き取ろう。
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次に続くページに、見開き 2 ページで「学びの地図」を設け、育成を目指す資質・能力と、それに対応する領域・分野ごとの学習内容や教材を示している。 ○ 教材ページの端に縦書きで学習目標、教材名の下に活動文を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習目標 歌舞伎に親しみ、その音楽を味わおう。 ○ 教材名 歌舞伎「勸進帳」(第 2・3 学年上) ○ 活動文 ・「勸進帳」は、日本の伝統芸能である歌舞伎の作品です。 ・声や楽器の音色、旋律の特徴などに気を付けながら、長唄のよさや美しさを味わって聴きましょう。 ・音楽、舞踊、演技が一体となった歌舞伎のよさや美しさを味わいましょう。

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	④音楽表現を創意工夫させるための工夫
方法	創作分野における音楽表現を創意工夫する学習の具体例

創作表現を創意工夫する学習の具体例（第1学年）	
音のスケッチ 日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動のポイントを示している。 ○ 6つの活動を設定し、活動④から活動⑥は、活動①から活動③の内容を書き込む欄を設けている。 ○ 「チャレンジ」として、更に創作する活動を設定している。 ○ キャラクターの吹き出しで、活動の指示を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉のつながり方を工夫して、短い旋律をつくろう。 ○ 言葉のリズムやまとまりを意識して、イメージに合う音を選ぼう。 ○ 活動① <ul style="list-style-type: none"> ・七五調の短い歌詞をつくって、リズムをつけてみよう。 ○ 活動② <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の抑揚を線で表してみよう。 ○ 活動③ <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の抑揚にそって、「ミ」「ソ」「ラ」の音をあてはめ、五線にも書き写してみよう。 ・左ページの「活動①」～「活動③」を参考にして、次の「活動④」～「活動⑥」の順番で旋律をつくってみよう。 ○ 音を「レ」「ミ」「ソ」「ラ」「ド」に増やしてつくってみよう。終わりの音も工夫してみよう。 ○ 自分で何度も声に出して読んでみましょう。 ○ 身近にある楽器で音を確認しながらつくってみよう。できあがった作品は、みんなで聴き合ってみよう。
音のスケッチ 全体の構成を考えながら音楽をつくろう	
<p style="text-align: center;">教 出</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動のポイントを示している。 ○ 「はじめに」として、言葉の例を示している。 ○ 6つの活動を設定し、活動④から活動⑥は、活動①から活動③の内容を書き込む欄を設けている。 ○ 「もっと楽しもう」として、更に創作する活動を設定している。活動を設定している。 ○ キャラクターの吹き出しで、工夫の仕方を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉のつなげ方や重ね方、全体のまとまりを工夫して音楽をつくろう。 ○ 言葉のリズムを意識して、ストーリーを表す言葉を選ぼう。 ○ はじめに <ul style="list-style-type: none"> ・日本語には、自然や動物、物などが発する音や、様子を表す言葉がたくさんあります。 ○ 活動① <ul style="list-style-type: none"> ・5～6人のグループになり、表現したいテーマを決め、さまざまな言葉で表してみよう。 ○ 活動② <ul style="list-style-type: none"> ・「活動①」で表した言葉をカードにして、繰り返したり重ねたりしてテーマを表現してみよう。 ○ 活動③ <ul style="list-style-type: none"> ・テーマにそった簡単なストーリーを想像し、構成や言葉の重ね方を工夫して、イメージに合った音楽をつくろう。始め方と終わり方も工夫しよう。 ・左ページの「活動①」～「活動③」を参考にして、次の「活動④」～「活動⑥」の順番で音楽をつくってみよう。 ○ もう一度、簡単なストーリーや集めた言葉を検討し、交流したことを参考に作品をつくり直してみよう。 ○ 表現した言葉のどれかに、楽器の音を重ねたり動作を加えたりすると、さらにおもしろくなるね。

【音楽（一般）】

教 芸	「My Melody」創作—音のつながり方—	
	○ 活動文を示している。	○ 課題や条件に沿って、創意工夫して旋律をつくりましょう。 ・課題や条件 ①リズムチャレンジでつくったリズムを使って、4分の4拍子、4小節の旋律をつくる。 ②表したいイメージを考え、そのイメージを表現するために、上行、下行、順次進行、跳躍進行などの音のつながり方を工夫する。 ③ハ長調のI-IV-V-Iの和音の動きに合わせてつくる。
	○ 「Warming up」として、音のつながり方の特徴を考える活動を設定している。 ○ 5つの活動を設定するとともに、活動③ではワークシートを示している。	○ 「主人は冷たい土の中に」(p. 18)の冒頭部分を例に、下に示した音のつながり方を確認し、どのような感じがするかを話し合しましょう。 ①リズムチャレンジ (p. 17) でつくったリズムを右の「ワークシート」の「ア」に書きましょう。 ②I-IV-V-Iの和音の動きに合わせて「ア」のリズムを手拍子で打ったり口ずさんだりしながら、どのような旋律をつくりたいかイメージしましょう。 ③②のイメージをもとに音のつながり方を工夫しながら旋律をつかって、「ワークシート」の「イ」に書きましょう。また、工夫した点を「ウ」に書きましょう。 ④中間発表をして、つくった旋律について意見交換をしましょう。 ⑤意見交換したことを参考に旋律を完成させて、もう一度発表しましょう。
	○ キャラクターの吹き出しで、考える観点や工夫の仕方を示している。	○ 2小節の2分音符に向かって跳躍進行で大きく上行したからハッとしたよ。 ○ しかも1小節目のリズムが細かかったから、2分音符がよりのびやかに感じられたね。 ○ 自分がつくりたい旋律のイメージに近づくように、リズムを変えてもいいよ。 ○ 自分がつくりたい旋律のイメージを表現するために、声に出したり、楽器で演奏したりして音の動きを確かめながらつくりよう。
	「Let's Create!」創作—音素材の特徴と構成—	
	○ 活動文を示している。	○ 課題や条件に沿って、創意工夫して音楽をつくりましょう。 ・課題や条件 ①はじめ 中 終わり の場面を設定する。 ②音素材の特徴を生かして、場面のイメージを表す。 ③反復、変化、対照などを用いて構成を工夫する。
○ 5つの活動を設定するとともに、活動③ではワークシートを示している。	①グループで話し合って下の2つの風景からどちらかを選び、自分たちが表したい場面を考え、ワークシートの「ア」「イ」に書きましょう。 ②グループで話し合って音素材を選びましょう。その際、①で考えた場面のイメージに合うか音を出して確かめながら、探しましょう。 ③グループで話し合いながら強弱や構成を工夫して音楽をつくりましょう。つくった音楽は、右ページの「例」のように図形などを使って、ワークシートの「ウ」に書きましょう。また、①で考えた場面のイメージを表すために、音素材を選んだ理由や、構成を工夫した点を「エ」に書きましょう。 ④中間発表をして、つくった音楽について意見交換をしましょう。 ⑤意見交換したことを参考に音楽を完成させて、もう一度発表しましょう。	
○ キャラクターの吹き出しで、考える観点や工夫の仕方、活動の指示を示している。	○ 自分たちで風景を考えてもいいよ。 ○ 「春」(p. 42)を参考にしてもいいね。 ○ 楽器の音色だけでなく、音の高低や長短、強弱などが演奏の仕方によって変わることにも注目しよう。 ○ 「はじめ」と「終わり」の場面を、同じにしたらどうかな？「はじめ」の音楽を反復させてみようよ。 ○ それはいい考えだね。最後は少し変化させて、演奏を工夫してみるのはどうかな。 ○ 私たちは林の風景を音楽にしました。晴れている林と雨の降る林の雰囲気の違いを、楽器の材質を変えて表現し、リズムは「はじめ」と「中」で対象的になるよう変化させました。 ○ 雨が上がった後の林の穏やかな感じが伝わってきました。「終わり」は「はじめ」と同じ音楽だったので、戻ってきた安心感があったのだと思います。	

【音楽（一般）】

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	⑤音楽的な見方・考え方を働かせる工夫
方法	鑑賞領域における音楽を形づくっている要素の示し方及び学習内容の記載

	扱われている音楽を形づくっている要素の示し方	音楽を形づくっている要素を用いた学習内容の記載
	第2・3学年上 「ボレロ」	
教出	<p>「音色」 「リズム」 「旋律」 「強弱」 「構成」</p> <p>○ 活動のポイントや学習活動の中で、音楽を形づくっている要素を使って示している。</p>	<p>「構成」</p> <p>○ 曲の特徴や曲全体の構成を関わらせながら鑑賞しよう。 「リズム」「旋律」「構成」</p> <p>○ リズムや旋律の反復による曲全体の構成を聴き取ろう。 「リズム」「構成」</p> <p>○ 「ボレロ」は、AとBの二つの主題と小太鼓のリズムの繰り返しで、曲全体を構成しています。これらの反復を聴き取ってみましょう。 「音色」「リズム」「旋律」「強弱」</p> <p>○ さまざまな楽器の音色（おんしょく）や響き、リズムや旋律の繰り返し、曲全体にわたる強弱の変化などを意識して、もう一度鑑賞しよう。</p>
	第2・3学年下 「ボレロ」	
教芸	<p>「音色」 「リズム」 「旋律」 「強弱」 「構成」</p> <p>○ 学習目標の下に示すとともに、活動文や考えたポイント、キャラクターの吹き出しの中に音楽を形づくっている要素を使っている。</p>	<p>「リズム」「旋律」「音色」「強弱」</p> <p>○ 繰り返し演奏されるリズムと2つの旋律、音色や強弱の変化に注目しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。 「リズム」「旋律」</p> <p>○ 繰り返されるリズムと2つの旋律は、どのように発展しているだろう。 「リズム」</p> <p>○ 小太鼓のリズムを打ってみよう。 「旋律」</p> <p>○ 旋律Aと旋律Bの繰り返しと、楽器の組み合わせの変化に注目しよう。 「音色」</p> <p>○ 金管楽器、木管楽器、弦楽器、それぞれの音色が聴こえるかな。</p>

【音楽（一般）】

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥興味・関心を高めるための工夫
方法	資料や巻頭の内容

	学年	資料の内容	巻頭の内容
教 出	第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ○ コンピュータで表現しよう ・音楽制作アプリの例やコンピュータについて説明している。 ○ リコーダー運指表 ・リコーダーのイラストと楽譜、運指表を掲載している。 ○ コードネーム表〈基礎となる音をCとした主なコードの例〉 ・14種類のコードと和音を掲載している。 ○ 楽典 ・音符・休符、形式、三連符、拍子、調（長調と短調の音階、平行調）、主要三和音、各部の名称、音高の変化、奏法、速度や速度の変化、強弱や強弱の変化、反復について図や楽譜、表を掲載し、説明している。 ○ 郷土の民謡に用いられる楽器 ・郷土の民謡に用いられる楽器の写真を掲載し、各楽器について説明している。 ○ 弦楽合奏に用いられる楽器 ・弦楽合奏に用いられる楽器の写真を掲載し、各楽器について説明している。 ○ 日本とアジアのこと ・日本とアジアのこの写真を掲載し、各楽器について説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ With My Heart 音楽はメッセージ 「私自身が一番の行動力は好奇心です。」 ・ピアニスト 角野隼斗の言葉と写真を掲載している。 ○ 作者の思いこふれる 「ちよっと待っていて。もうすぐ書き終える。」 ・フランツ・シューベルトに関する内容と自筆譜を掲載している。
	第2・3学年上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 私たちのくらしと音楽～音楽著作権について～ ・著作権について、著作物やMP3の扱いなどについて説明している。 ○ 劇場・音楽堂へ行こう！ ・神奈川県立音楽堂について写真を掲載し、説明している。 ○ リコーダー運指表（第1学年に同じ） ○ コードネーム表〈基礎となる音をCとした主なコードの例〉（第1学年に同じ） ○ 楽典（第1学年に同じ） ○ オーケストラの楽器 ・オーケストラの楽器の写真を掲載し、各楽器について説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ With My Heart 音楽はメッセージ 「こんな音楽を聴きたい、演奏してみたい」という気持ちを大切に」 ・笙奏者 宮田まゆみの言葉と写真を掲載している。 ○ 作者の思いこふれる 「芸術だけが私を踏みとどまらせたのだ。」 ・ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンに関する内容と自筆譜を掲載している。
	第2・3学年下	<ul style="list-style-type: none"> ○ ポピュラー音楽図鑑 ・ブルース、ゴスペル、ジャズ、リズム・アンド・ブルース、カントリー・アンド・ウエスタン、フォーク、ロックについて説明するとともに、それぞれ代表的なアーティストの写真やイラストを掲載し、紹介している。 ○ 日本と西洋の音楽の歩み ・日本と西洋の年表、それぞれの時代について、写真を掲載し、説明している。 ○ コンピュータと音楽 ・コンピュータと音楽の関わりについて、イラストを掲載し、説明している。 ○ 音楽のチカラで人と社会を未来へつなぐ ・アウトリーチや音楽をととした教育活動について、写真を掲載し、説明している。 ○ 発展 音の三要素 ・音量、音高、音色（おんしょく）について説明している。 ○ リコーダー運指表（第1学年に同じ） ○ コードネーム表〈基礎となる音をCとした主なコードの例〉（第1学年に同じ） ○ 楽典 ・音符・休符、形式、三連符、拍子、同主調転調、主要三和音、各部の名称、音高の変化、奏法、速度や速度の変化、強弱や強弱の変化、反復について図や楽譜、表を掲載し、説明している。 ○ 肖像で見る音楽年表 ・音楽家の肖像を掲載し、各音楽家の主要な作品名と作曲時期等を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ With My Heart 音楽はメッセージ 「音に対する感受性が膨らむと「想像力の羽ばたき」が始まります。」 ・指揮者 大野和士の言葉と写真を掲載している。 ○ 作者の思いこふれる 「此道に資する所あらんとす」 ・滝 廉太郎の言葉と自筆譜を掲載している。

【音楽（一般）】

	学年	資料の内容	巻頭の内容
教 芸	第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ○ ルールを守って音楽を楽しもう！ ・著作権や音楽を利用するときに気を付けること、音楽が生み出される仕組みについてイラストや図を掲載し、説明している。 ○ 生活や社会の中の音や音楽 音や音楽が果たす役割 ・暮らしにおいて音や音楽の果たすさまざまな役割について写真やイラストを掲載し、説明している。 ・「見つけよう！学校の中の「気になる音」として、再生マークが入った写真を掲載し、説明している。 ○ 音楽を形づくっている要素 ・音色やリズムなど音楽を形づくっている要素について、イラストや楽譜を掲載し、説明している。 ○ 音楽の約束 ・五線譜、音符・休符、拍子記号、音階（長調の音階、短調の音階、日本の音階）、音程、和音・コードネーム、曲の形式、いろいろな記号・用語について図や楽譜、表を掲載し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽の一員になれる時間 ・俳優・歌手 上白石萌音の言葉と関連する写真を掲載している。 ○ 音楽って何だろう 「一生を通して楽しむもの」 ・宇宙飛行士 野口聡一の言葉と関連する写真を掲載している。
	第2・3学年上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活や社会の中の音や音楽 人と人をつなぐ音楽 ・さまざまな場面で音楽が人と人をつないでいることについて、写真を掲載し、説明している。 ○ 音楽を形づくっている要素（第1学年に同じ） ○ 音楽の約束 ・音階（長調と短調の音階、3種類の短音階、日本の音階）、音程・和音、曲の形式、音符・休符・記号・用語について図や楽譜、表を掲載し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今に生きる伝統 ・歌舞伎役者 十代目 松本幸四郎及び八代目 市川染五郎の言葉と関連する写真を掲載している。 ○ 音楽って何だろう 「自分の世界を広げるもの」 ・人類進化学者 海部陽介の言葉と関連する写真を掲載している。
	第2・3学年下	<ul style="list-style-type: none"> ○ ルールを守って音楽を楽しもう！ ・著作権及び著作権隣接権について、イラストを掲載し、説明している。 ○ 生活や社会の中の音や音楽 仕事と音楽 ・社会の中にある音楽に関わる仕事について、写真を掲載し、説明している。 ・音楽とSDGs、楽器とSDGsについて、写真とSDGsのマークを掲載し、説明している。 ○ 耳でたどる音楽史 ・日本と西洋の年表、それぞれの時代に関する写真や音楽家の肖像などを掲載し、説明している。 ○ 音楽を形づくっている要素（第1学年に同じ） ○ 音楽の約束 ・音符・休符・記号・用語について表を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今ここにしかない瞬間を大切に ・ピアニスト 反田恭平の言葉と関連する写真を掲載している。 ○ 音楽って何だろう 「寄り添ってくれるもの」 ・アートディレクター 森本千絵の言葉と関連する写真ポスターを掲載している。

【音楽（一般）】

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑦生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わるための工夫
方法	音楽文化に関する学習についての記載

世界の諸民族の音楽についての記載（我が国の音楽は除く）	
教 出	<p>世界のさまざまな芸能や音楽（第2・3学年下）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 題材名 <ul style="list-style-type: none"> ・多様な芸能や音楽の表現を鑑賞しよう。 ○ 活動のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・音楽と物語との関わりを理解して鑑賞しよう。 ・物語を表現する音楽の多様性を聴き取ろう。 ○ 中国、アメリカ、朝鮮半島、インドネシアの特徴的な芸能や音楽について写真を掲載し、説明している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ジンジュ〈京劇〉「西遊記」から（中国）、ミュージカル「レ・ミゼラブル」から（アメリカ）、パンソリ（朝鮮半島）、ワヤン・クリ（インドネシア）を取り上げ、写真を掲載し、説明している。 ○ 2つの話し合う活動を設定している。
教 芸	<p>世界の諸民族の音楽（第2・3学年下）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習目標 <ul style="list-style-type: none"> ・世界のさまざまな楽器の音楽を味わおう。 ○ 活動文 <ul style="list-style-type: none"> ・楽器の音色、リズム、旋律の特徴などに注目しながら、それぞれの音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。 ○ 考えたいポイント <ul style="list-style-type: none"> ・世界各地のさまざまな音楽のよさや美しさは、音楽のどのようなところから感じられるだろう。 ○ 背景に世界地図を掲載し、その上に各地の楽器の写真を(管)(弦)(打)のマークを付けて掲載している。また、その中から、(管)タンソ（朝鮮半島）、(弦)ウード（アラブ諸国）、(打)タブラー（北インド）を取り上げ、写真を掲載し、説明している。

【音楽（一般）】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧我が国の音楽に関する内容の扱い
方法	学年ごとに扱う鑑賞教材及び歌唱教材（歌唱共通教材を含む）

		鑑賞教材及び歌唱教材（歌唱共通教材を含む）	
教 出	第1学年	鑑賞教材	郷土のさまざまな民謡、箏曲「六段の調」、日本とアジアをつなぐ音、尺八曲「鹿の遠音」、日本とアジアの声によるさまざまな表現
		歌唱教材	ソーラン節、かりぼし切り歌 歌唱共通教材：夏の思い出、赤とんぼ
	第2・3学年上	鑑賞教材	雅楽「越天楽」、能「羽衣」キリから「東遊びの数々に～」の部分、能「敦盛」キリから「波の打物抜いて～」の部分、郷土の音楽や芸能
		歌唱教材	歌唱共通教材：浜辺の歌、早春賦、花の街
	第2・3学年下	鑑賞教材	歌舞伎「勧進帳」、文楽「義経千本桜」から二段め 大物浦の段
		歌唱教材	長唄「勧進帳」をうたおう 歌唱共通教材：花、荒城の月
教 芸	第1学年	鑑賞教材	雅楽「平調 越天楽」一管絃一、箏曲「六段の調」、日本の民謡
		歌唱教材	ソーラン節 歌唱共通教材：浜辺の歌、赤とんぼ
	第2・3学年上	鑑賞教材	歌舞伎「勧進帳」、文楽「新版歌祭文」から“野崎村の段”
		歌唱教材	長唄「勧進帳」から、義太夫節「野崎村の段」から 歌唱共通教材：夏の思い出、荒城の月
	第2・3学年下	鑑賞教材	尺八楽「巢鶴鈴慕」、能「敦盛」
		歌唱教材	謡「敦盛」から 歌唱共通教材：花、花の街、早春賦

【音楽（一般）】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑨教材の配列及び分量
方法	教材の配列とその具体例及び目次に示された領域ごとの教材数

	教材の配列		具体例（教材数）	目次に示された領域ごとの教材数			
	領域・分野	資料等		領域	学 年		
			第1学年		第2・3学年上	第2・3学年下	
教 出	○ 全学年 ・「歌唱」 ・「鑑賞」 ・「創作」	○ 全学年 ・音楽を形づくっている要素 ・資料 ・歌のアルバム ・全校合唱 ・〔国歌〕君が代 ・資料 ○ 「Sing!Sing!」(第1学年及び第2・3学年上に掲載)及び「Let's Try!」については、関連する教材に付帯して配列している。	・歌唱(11) ・鑑賞(8) ・創作(2) ・音楽を形づくっている要素(1) ・Sing!Sing!(3) ・Let's Try!(4) ・資料(7) ・歌のアルバム(9) ・全校合唱(1) ・〔国歌〕君が代(1)	歌唱	22	20	17
			創作	2	2	2	
			鑑賞	8	8	6	
教 芸	○ 第1学年 ・「歌唱」 ・「鑑賞」 ・「創作」は関連する教材の後ろに配列している。 ・「鑑賞」に関連する「歌唱」の教材を後に配列している。 ○ 第2・3学年上及び第2・3学年下 ・「歌唱」 ・「創作」 ・「鑑賞」 ・「鑑賞」に関連する「歌唱」の教材を後に配列している。	○ 第1学年及び第2・3学年下 ・特集 ・歌い継ごう日本の歌 ・心通う合唱 ・資料 ・国歌「君が代」 ○ 第2・3学年上 ・歌い継ごう日本の歌 ・心通う合唱 ・特集 ・資料 ・国歌「君が代」 ○ 「発声」「リズムで楽しもう」(第1学年及び第2・3学年上に掲載)「指揮」については、関連する教材に付帯して配列している。	・歌唱(3) ・創作(1) ・歌唱(4) ・鑑賞(1) ・創作(1) ・鑑賞(5) ・歌唱(1) ・鑑賞(1) ・発声(1) ・リズムで楽しもう(3) ・指揮(1) ・特集(2) ・資料(2) ・歌い継ごう日本の歌(2) ・心通う合唱(9) ・歌「君が代」(1)	歌唱	20	18	17
			創作	2	2	2	
			鑑賞	7	6	7	

【音楽（一般）】

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑩楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの活用
方法	楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの具体例

	曲名	楽譜	イラスト・写真	デジタルコンテンツ
教 出	歌唱「花」 (第2・3学年下)	○ 全6ページのうち、3ページ目から6ページ目に掲載している。	○ 隅田川の風景 ○ 隅田川岸の青柳 ○ 隅田川岸の桜の花 ○ 明治時代の隅田川の様子 ○ 風景版画「向鳶桜」 ○ 桜、風景（楽譜上部、右下）	○ 二次元コードを掲載し、範唱に合わせた風景の映像と歌詞の動画を掲載しているページに、アクセスできる。
	鑑賞「魔王」 (第1学年)	○ 全4ページのうち、後半の見開き2ページに、前奏と独唱部分の旋律を掲載している。	○ モーリツ・フォン・シュヴァント（画）（背景） ○ 作曲者及び作詞者の肖像画 ○ 「父」「子」「魔王」（イラスト）（楽譜左横）	○ 「Active!」において、二次元コードを掲載し、ワークシートがダウンロードできるページに、アクセスできる。
教 芸	歌唱「花」 (第2・3学年下)	○ 全6ページのうち、3ページ目から6ページ目に掲載している。	○ 春の隅田川 ○ 柳 ○ おぼろ月 ○ 櫂 ○ 露にぬれた桜 ○ 作詞者及び作曲者 ○ 明治時代の花見の様子 ○ 桜等（イラスト）（楽譜周囲）	○ 二次元コードを掲載し、範唱に合わせた風景の映像と歌詞の動画を掲載しているページに、アクセスできる。 ○ 二次元コードを掲載し、パート別とカラピアノの音源を掲載しているページに、アクセスできる。また、「組歌「四季」」についての説明と、それぞれの旋律の一部の音源を掲載しているページに、アクセスできる。
	鑑賞「魔王」 (第1学年)	○ 全4ページのうち、前半の見開き2ページに、前奏と独唱部分の旋律を掲載している。	○ 「語り手」「父」「子」「魔王」（イラスト）（楽譜左横） ○ バリトン歌手及びピアニスト ○ 作曲者及び作詞者（肖像画）	○ 二次元コードを掲載し、前奏と独唱部分の楽曲の音源及び楽曲と連動した楽譜を掲載しているページに、アクセスできる。また、ワークシートがダウンロードできるページに、アクセスできる。

【音楽（一般）】

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑪特別支援教育へ配慮した構成及びデザインの工夫
方法	ユニバーサルデザインに配慮した示し方

ユニバーサルデザインに配慮した示し方	
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の書体は、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 紙面全体や、図版やイラスト等について、カラーユニバーサルデザインに配慮している。 <ul style="list-style-type: none"> ・領域・分野ごとに基本色を設定し、ページ左端もしくは右端にそれぞれの基本色の枠を設け「題材名」を示している。 ○ ページ左端もしくは右端に縦書きで「題材名」、ページ上部に「教材名」、教材名の下部に「活動のポイント」と、紙面構成を統一している。 ○ 複数の教材において、文字を写真中に掲載するときに無地の部分に配置している。
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の書体は、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 紙面全体や、図版やイラスト等について、カラーユニバーサルデザインに配慮している。 <ul style="list-style-type: none"> ・領域・分野ごとに基本色を設定し、ページ左端もしくは右端にそれぞれの基本色の枠を設け、「学習目標」と「音楽を形づくっている要素」を示している。 ○ ページ左端もしくは右端に縦書きで「学習目標」、学習目標の下部に「音楽を形づくっている要素」、ページ上部に「教材名」、教材名の下部に「活動文」と、紙面構成を統一している。 ○ 複数の教材において、文字を写真中に掲載するときに無地の部分に配置している。